



つばめ だより

総合介護福祉施設
和朗園
ケアハウス 佐和

〒569-0015 高槻市井尻2丁目37番8号
TEL 072-660-3600 (代表) FAX 072-660-3601
<http://www.kyousei-fukushi.or.jp/warouen/>

踊りの夏、4年ぶりの納涼祭開催





4年ぶりに合同で納涼祭を開催しました。
外は暑かったですが、参加された皆様は美味しいものを
食べながら、とても楽しそうなお様子でした。皆様の写真を
一部ですがご紹介させていただきます。



喀痰吸引等研修

7月より今年度の喀痰吸引等研修が開始しました。和朗園でのこの研修は「たんの吸引（口腔内、鼻腔内）」と「経管栄養（胃ろう、腸ろう経管栄養）」を行える介護職員を養成するための研修です。

基本研修と実地研修を受講して両方修了し、都道府県の認定を受けることで、医師や看護師との連携の下、「たんの吸引」「経管栄養」が実施できるようになります。

本年度の受講生は、講義から参加している受講生が7名と実地研修から参加する方が2名です。和朗園を含め東和会グループの施設内から受講しています。利用者様の緊急時の対応が出来るように真剣に学んでいます。



教育委員会

和朗園では、計画的な内部研修、外部研修を通して、学習意欲を高めて専門レベルの向上を図っています。

内部研修は、世の中の感染状況に合わせる事が出来る様に、集合研修や動画視聴や資料回覧と様々な開催方法で実施しています。

外部研修は、日常業務で得られない知識や技術を身に付けられるとともに、職場外との接触でネットワークを拡大して、新たな視点と発想を実践に活かして、ケアの質を向上できるように積極的に参加しています。

もう一つ大切に行っている事が新入職員の教育制度です。プリセプター制度を実践して、段階的に専門職としての心構えや考え方を指導します。同時に、新入職員の抱える不安や悩みを解決できるように、フォローアップにも力を入れて、自己意欲を引き出し目標を立てる事ができる環境を提示して、安心かつ快適に働けるように取り組んでいます。



児童 放課後ひろば 和っはっは

【夏まつり】8月9日

グループに分かれて夏祭りの出し物を話しあい、必要な材料を考え、協力して集めたペットボトルやチラシ、段ボールなどを中心に工夫して製作し、当日の受付、運営をどうするかまで子ども達が主体的に行いました。

輪投げ、もぐらたたき・ボウリング・金魚すくい・射的・もぐらたたき・ヨーヨーすくい・宝探しと8つのお店が並び、手作りのお面をつけた43名の子ども達にぎやかに楽しくすごしました。



【かき氷イベント】

かき氷大会を夏休み中に5回実施しました。かき氷にかけるシロップは、いちご・メロン・レモン・ラムネ・ブルーハワイから好きな味を選び、暑い中つめたい氷をおいしくいただきました。



栄養科だより

和朗園では、毎月1日を和朗園の日とし、行事食を提供しています。夏には天ぷらそば、冬にはおでんなど、季節を感じることでできる食事を提供しています。



4月には、ケアハウスの利用者様へお花見弁当を提供し、美味しかったと好評の声をいただきました。



敬老会には赤飯や天ぷら、年末年始には年越しそば、おせち、七草粥などの提供を予定しています。これからも利用者様に食の楽しさや幸せを感じていただける食事を提供したいと思えます。

今後のイベントの予定

敬老会 9月16日(土)
各部署にて実施予定です。

五領ふるさと祭り

五領地域の夏のイベントに参加し、迫力ある「南中ソーラン節」を披露しました。出演した職員は大きな舞台で緊張しながらも、練習の成果を發揮し、熱い思いを込めた踊りをお祭りに来られた方へ伝えられたかと思えます。



編集後記

今年の5月からはマスクの着用が緩和されて、和朗園のイベントでもマスクを外すことが増えてきました。今まではマスクを着用している写真が多く、なかなか雰囲気や伝えられなかったのですが、マスクを外している写真が増え、利用者様の素敵な笑顔が皆様に伝えられるようになりました。今回の納涼祭も紹介したい写真であふれています。今後も利用者様の「素敵な笑顔」をたくさん掲載し、雰囲気の伝わる広報誌を作成していきたいと思えます。